

## 「役員システム」試行を開始

情報システム部 情報システム課

最新の情報・通信技術を活用し、経営上の意思決定や経営戦略の策定に必要な情報を提供し、役員の業務を支援するために、秘書室、企画室、制御通信部、情報システム部が中心となり、各室・部の協力を得て役員システムを開発した。今後も役員の要望に基づき、さらに改善する予定である。

### 1 システムの概要

#### (1) 運用開始時期

61年1月から常務取締役以上の役員を対象に試行開始し、セキュリティも含めた諸機能を確認後、61年4月から本格運用とし、各室・部担当以上に経営情報提供を行う。ただし、当面は本店ビル内の役員を対象とする。

#### (2) 提供する情報の内容

役員の多様なニーズに答えるため、第1表のような情報を提供する。

第1表 情報の概要

情報	内容
各室・部提供の経営管理情報	ビデオテックス方式 (当面約1,000画面)
緊急情報	役員に対する緊急連絡
キャプテン情報	NTTのキャプテン情報
商用テレビ放送	
ビデオ放送	中電ビデオレポートを始め、 役員が希望するビデオテープ
気象情報	気象衛星ひまわり、気象レーダ システムからの気象情報
出退情報	役員の在席・離席・不在情報
メモ情報	手書きメモ、簡単な文書 (役員自身が入力、検索可能)
電子ファイル	全役員共通の文書・資料 (別置単独装置にファイル)

#### (3) 情報提供方式

大きめの文字・数字や、グラフ・図形・絵を組み合わせて、質の高い情報をできる限り分かり易く迅速に提供できるようにするため、ビデオテックス方式を採用した。(第1図参照)

#### (4) 情報の管理

情報は全役員が見ることができる共通情報と、



第1図 表示画面例

特定の役員だけが参照できる個別情報に分けて管理する。また、IDカードを使用し、他者の使用を防止する。

#### (5) システム構成

役員システムの構成は第4図のとおりである。ホストコンピュータとして専用機 (DP / 9070S 二重系システム) を使っている。

### 2 システムの技術的特徴

#### (1) 1台4役のCRT

役員システムは、第2表のように各種情報を別々の方式で表示するため、本来はCRTが数台必要となる。

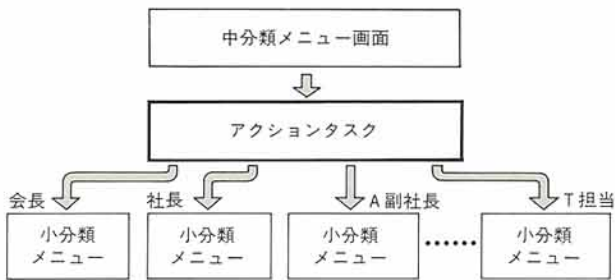
CRT設置スペースを少なくし、利用者が使い易くするため、1台のCRTで全機能を満足するような4段切換機能付きCRTを開発し、使用している。

第2表 役員システムの各種情報表示

提供情報の種類	表示方式	画面精度
テレビビデオ ひまわり画像	NTSCビデオ 信号	走査線525本 インターレース方式
各室・部の経営 管理情報	ビデオテックス NAPLPS方式	横 640 × 縦 500 ドット
NTTのキャ プテン情報	ビデオテックス キャプテン方式	横 496 × 縦 408 ドット
メモ情報	イメージ	横 960 × 縦 700 ドット

(2) 情報の個別管理

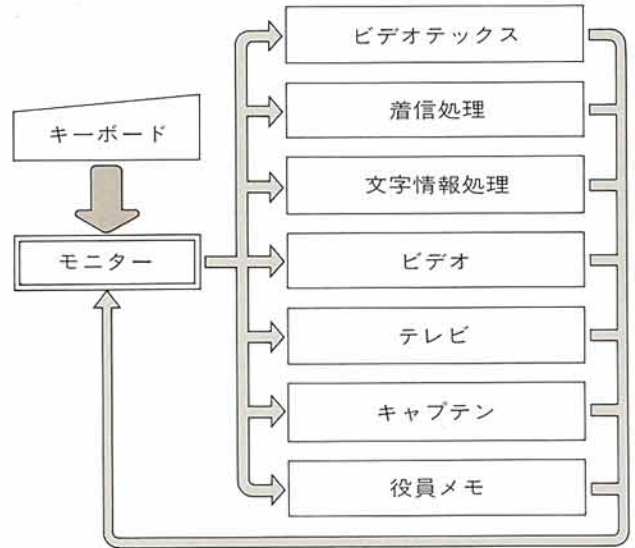
経営情報には特定の役員しか参照できない個別情報があるので、役員ごとにメニュー画面が異なる。NAPLPSの国際標準コードでは画面データのなかに“この画面はどの役員に表示するか”という情報を盛りこめないため、検索パスの途中で第2図のようにアクションタスクを入れて役員ごとに検索ルートを変える方式とした。



第2図 アクションタスクの例

(3) 端末をマルチタスクで使用

役員システムの端末は、一方ではビデオテックスのデコーダまたはDP/9070Sのエミュレータとしての仕事をしながら、他方では第3図のように絶えずキーボードから情報をモニターしており、何かキーボードを押せば、現在いかなる処理をしてもすぐに切り換えることができる。(端末にはマルチタスク処理をサポートする、インテル社の80286のマイクロプロセッサを使用している。)



第3図 モニタ機能

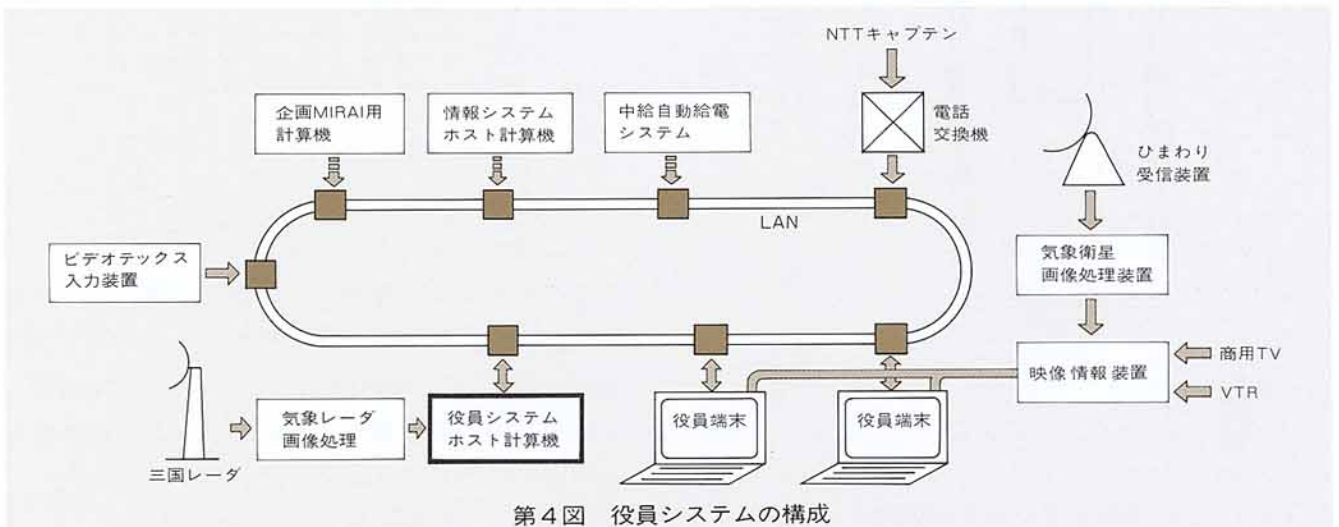
4 今後の課題

(1) 情報提供対象の拡大

役員システムは、61年4月から本店ビル内の役員を対象に本格運用に入る。さらに、61年度中に遠隔事業場の全役員まで対象範囲を拡大することを検討している。

(2) 提供情報の充実

自動給電のコンピュータなどからオンラインでデータを取り込み、時々刻々変化する情報を提供したり、役員スケジュールなど秘書室で扱っている情報も織り込み、提供情報の充実を図りたい。



第4図 役員システムの構成